

こっこめ通信 11 2003

ハ丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「もうすぐ冬だ！カモを探そう！」号

10月になって秋も深まり、「ツワブキ」「イズノシマダイモンジソウ」「ハチジョウアキノキリンソウ」など色々な秋の花が咲きそろいました。そんな中、時期を間違えてしまった「オオシマザクラ」や「ソメイヨシノ」の花も咲いています。いったい最近の自然はどうなっているのでしょうか？ちょっと心配です。

さて、今回は10月13日に行った「富士環状林道ハイキング」と冬鳥「カモの仲間」のお話です。

富士環状林道ハイキング



10月13日「富士環状林道ハイキング」が行われました。この行事は環境省が提唱する自然に親しみながら歩く「全国・自然歩道を歩こう月間」の一環として、ビジターセンターが主催したものです。昨年も同じ行事が予定されていましたが、天候不順で中止になってしまったリベンジ行事でもあります。

今年は、9月下旬に通過した台風の影響で倒木が道を塞ぎ、倒木を乗り越えたり、くぐったりとハイキングとは言い難い行事になってしまいました。それでも、普段歩かない道を参加者は楽しんでくれたようです。

途中、旅をすることで有名な「アサギマダラ（写真中左）」も見られました。ハ丈島にたどり着いたこのチョウは渡りのルートから外れてしまったのでしょうか？また、子囊菌類に寄生された「オキナワキボシカミキリ」が原形をとどめている不思議な姿（写真中右）も見られました。

天候も標高の低い所は良かったものの、高くなるにつれ段々と雲の中に入り、雨が心配されましたが降られず、10kmの道のりを5時間半かけてのんびりと歩きました。

今回の行事で「富士環状林道」を歩き、「三原林道」「鴨川林道」「こん沢林道」と過去に歩いているので、残るは中之郷地区にある「東山林道」ですね。

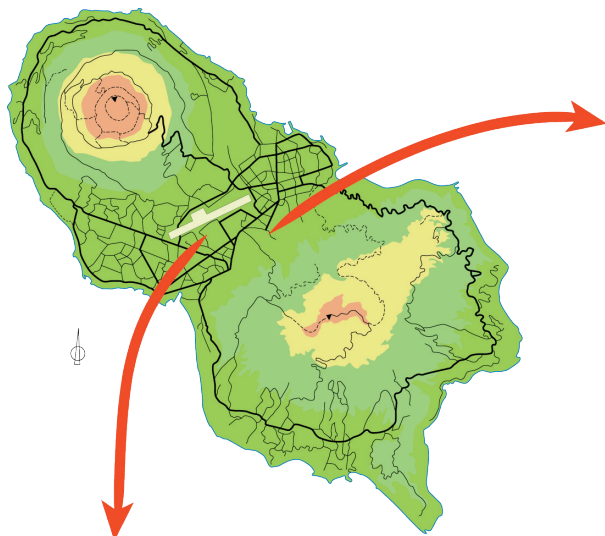
来年も「全国・自然歩道を歩こう月間」に合わせ、ハイキングの行事が組まれると思います。次回はぜひ参加してみたいはいかがですか？

「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。ハ丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島でカモの仲間を観察しよう！

冬になると八丈島にもカモの仲間が渡ってきます。しかし種類・数ともにとても少なく、わざわざ八丈島へ観察に来るほどではありません。それでも島に住む人にとってはこの時期にしか見られません。がんばって渡ってきた、かわいいカモたちをぜひ観察してみたいはかでしょうか？

観察ポイントの1つが植物公園内にあるバードサンクチュアリの池。この池は10月上旬に修復も終わり、この冬にはカモの仲間が降り立ってくれるかもしれません。また、ホタル水路の近くにある「いずみ」と呼ばれている池や鴨川の上流の池、鴨川などでも見られますよ。



ホタル水路近くの「いずみ」



修復の終わったバードサンクチュアリの池

10月の下旬には植物公園のバードサンクチュアリの池にも「マガモ（写真下：上段）」が降りてきてくれました。ホタル水路の「いずみ」でもすでに「オシドリ（写真下：中段）」や「マガモ」、「コガモ」の姿も見られています。

また、庭に元気のないカモがうずくまっているとの連絡から保護した「コガモ（写真下：下段）」も元気になり、鴨川上流の池に放鳥しました。

さてこれから冬本番、いったいどんなカモたちがやってきてくれるのでしょうか？

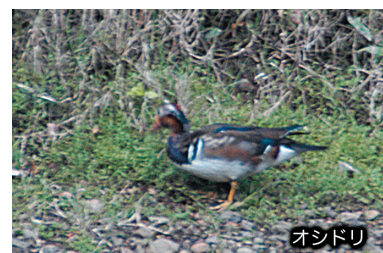
八丈島で記録のあるカモ科の鳥（和名・学名は「日本鳥類目録改訂第6版」に従いました。）

コクガン	<i>Branta bernicla orientalis</i> Tugarinov, 1941	AV
マガン	<i>Anser albifrons frontalis</i> Baird, 1858	AV
カリガネ	<i>Anser erythropus</i> (Linnaeus, 1758)	AV
ヒシクイ	<i>Anser fabalis serratirostris</i> Swinhoe, 1871	IV
コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i> (Gmelin, 1789)	AV
オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i> (Linnaeus, 1758)	AV
コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus jankowskyi</i> Alpheraky, 1904	AV
オシドリ	<i>Aix galericulata</i> (Linnaeus, 1758)	IV
マガモ	<i>Anas platyrhynchos platyrhynchos</i> Linnaeus, 1758	WV
カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha zonorhyncha</i> Swinhoe, 1866	IV
コガモ	<i>Anas crecca crecca</i> Linnaeus, 1758	WV
トモエガモ	<i>Anas formosa</i> Georgi, 1775	IV
ヨシガモ	<i>Anas falcata</i> Georgi, 1775	IV
オカヨシガモ	<i>Anas strepera strepera</i> Linnaeus, 1758	IV
ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i> Linnaeus, 1758	WV
オナガガモ	<i>Anas acuta acuta</i> Linnaeus, 1758	IV
シマアジ	<i>Anas querquedula</i> Linnaeus, 1758	WV
ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i> Linnaeus, 1758	WV
ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i> (Linnaeus, 1758)	IV
キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i> (Linnaeus, 1758)	IV
スズガモ	<i>Aythya marila mariloides</i> (Vigors, 1839)	IV
クロガモ	<i>Melanitta nigra americana</i> (Swainson, 1832)	IV
ピロードキンクロ	<i>Melanitta fusca stejnegeri</i> (Ridgway, 1887)	IV
シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus pacificus</i> Brooks, 1915	IV
ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula clangula</i> (Linnaeus, 1758)	IV
ウミアイサ	<i>Mergus serrator serrator</i> Linnaeus, 1758	IV

AV：とても珍しい IV：稀に見られる WV：冬鳥として訪れる



マガモ



オシドリ



コガモ

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10 月 12 日にホテル水路で観察会を行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 15 年第 9 回）今回はホテル水路で実施しました。

平成 14 年 10 月 12 日（日）13 時 30 分～ 15 時

参加者・菊池、伊藤、青柳、永井、永井、古謝、安彦、伊勢崎、V.C. 菊池 参加者 8 名

NO.	和 名	状 態	NO.	和 名	状 態
草 本			43	ゲンノショウコ	花と実
1	ハチジョウススキ	花	44	コメヒシバ	花
2	タチスズメノヒエ	花と実	45	アメリカセンダングサ	花と実
3	ヒメジソ	花と実	46	ツククサ	花
4	イヌタデ	花	47	ツクシメナモミ	花
5	セイタカアワダチソウ	蕾	48	ハチジョウアザミ	花と実
6	ハチジョウイタドリ	花と実	49	メリケンカルカヤ	実
7	オオバコ	花と実	50	ベニバナボロギク	花
8	ヨモギ	花	51	イガガヤツリ	実
9	ツルソバ	花	52	ヘビイチゴ	実
10	カラムシ属雑種	実	53	ミゾソバ	花
11	ハウキギク	花	54	アカバナ	花と実
12	アキノノゲシ	花	55	ヌメリグサ	実
13	シマスズメノヒエ	花と実	56	チゴザサ	実
14	テンツキ	実	57	ウリクサ	花
15	イノコヅチ	実	58	カンガレイ	花と実
16	ヘクソカズラ	実	59	ツルマオ	花
17	マルバツユクサ	花	60	エダウチチヂミザサ	花
18	イヌホオズキ	花と実	61	チョウジタデ	花と実
19	カッコウアザミ	花	62	センニンソウ	花と実
20	メヒシバ	実	63	タケダグサ	花と実
21	アリタソウ	花と実	64	ツワブキ	蕾
22	キンゴジカ	花と実	65	キツネノマゴ	花
23	エノコログサ	実	66	タネツケバナ	花と実
24	ノゲシ	花	67	オヒシバ	実
25	ウスベニニガナ	花	68	チカラシバ	花と実
26	センナリホオズキ	花と実	69	ヤマノイモ	ムカゴ
27	タカサブロウ	花と実	70	ネズミノオ	実
28	キツネノボタン	花と実	71	アメリカアゼナ	花
29	ヤナギタデ	花	72	ツルマメ	実
30	コセンダングサ	花と実	73	カヤツリグサ科不明種 1	実
31	イワニガナ	花	74	カヤツリグサ科不明種 2	実
32	ノコンギク	花	木 本		
33	セイヨウタンポポ	花			
34	ヌマダイコン	花	1	オオバヤシャブシ	実
35	カタバミ	花と実	2	シチトウタラノキ	花
36	ダンチク	花	3	ハチジョウイボタ	実
37	タイヌビエ	実	4	イヌビワ	実
38	ヒメジョオン	花	5	ハチジョウグワ	狂い咲き
39	ジュズダマ	実	6	テイカカズラ	実
40	シロバナセンダングサ	花と実	7	オオムラサキシキブ	実
41	ヒヨドリバナ	花	8	シマクサギ	実
42	ヌスビトハギ	実	今回は植物 82 種を観察しました。		

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は「ハチジョウススキ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウススキ *Miscanthus condensatus*

関東以西に分布するイネ科の多年草。海岸近くに多く生え、ススキよりも大型で背丈が 2 m 近くにもなります。縁がほとんどざらつかず、ススキのように手を切る事はありません。またススキとの雑種も見つかっています。

島では「まぐさ」と呼び、牛の主食や畑の風よけとして利用されていました。

2003 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 11:06 03:13 20:41 16:16			 この色の日は 特別行事があります			 1 ガイドウォーク 12:30 03:41 20:11 16:51
2 ガイドウォーク 13:44 05:10 23:10 19:53	3 ガイドウォーク 14:23 06:46 20:34	4 01:32 07:57 14:52 21:03	5 02:44 08:48 15:15 21:30	6 03:34 09:27 15:37 21:56	7 04:15 10:01 15:59 22:21	立冬 8 ガイドウォーク 04:52 10:33 16:20 22:48
 9 ガイドウォーク 秋の特別行事 「北限のヘゴを訪ねて」 05:28 11:03 16:42 23:16	10 06:02 11:32 17:05 23:45	11 06:37 11:59 17:28	12 07:12 00:15 17:51 12:27	13 07:49 00:47 18:14 12:54	14 08:30 01:21 18:37 13:24	15 ガイドウォーク 09:21 02:00 19:03 14:04
16 ガイドウォーク 10:30 02:49 19:39 15:17	 17 11:54 03:53 21:14 17:51	18 13:02 05:17 19:30	19 00:11 06:42 13:47 20:13	20 01:52 07:52 14:22 20:49	21 03:00 08:48 14:54 21:25	22 ガイドウォーク 八文学講座 「八丈島の 始祖伝説」 03:56 09:37 15:25 22:02
小雪 23 ガイドウォーク 04:49 10:21 15:56 22:40	 24 ガイドウォーク 05:40 11:02 16:29 23:21	25 06:31 11:42 17:02	26 07:22 00:03 17:37 12:22	27 08:15 00:46 18:14 13:03	28 09:08 01:32 18:53 13:49	29 ガイドウォーク 10:05 02:20 19:38 14:48

イベントプログラム

特別行事

「北限のヘゴを訪ねて」

畔上 能力さんを講師に招き、大川のヘゴ自生地を訪ねます。

11/9 (9:30～ 約6時間) 持ち物：お弁当・飲み物・雨具

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：30名

八文学講座

「八丈島の始祖伝説」

毎月行っている八文学講座。今回は、八丈島の始祖伝説・ルーツを探ります。

11/22 (13:30～ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.11.1 第30号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

「こっこめ通信」もいつの間にか30号になりました。ネタが無くなると困るので書き留めていたのですが、毎月毎月色々な話題が出てきて未だに使っていません。八丈島は話題が豊富で楽しいですね。（高）